

学力向上に効果のある取組事例

中津市立樋田小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

樋田小スタンダードに基づいた授業づくり

<樋田小スタンダード>

- 自分の考えや立場がみんなに見える
- 「めあて・課題・まとめ・振り返り」の設定
- 自主学习で基礎基本の徹底繰り返し
- 友だち同士で学び合い、認め合う優しい言葉
～スタンダードをより具現化するために～

○授業規律

- ・話型や聴くことのしつけを習得させる。
- ・キーワードやヒントカード・既習事項を活用した授業を組み立てる。

○表現する場の設定

- ・ペア・グループ、全体場で意見交換の場を設ける。
- ・まとめ・振り返りの中でキーワードを使って書いたり、説明したりする。(振り返りの重視)

※互見授業や児童・教職員のセルフチェック(学期に2回)で検証している。

学習の約束事 (中・高学年) 樋田小学校

伝えあうときのことは
「みんなに伝えるとき」「どうですか?」「どうですか?」「どうですか?」「どうですか?」

「同じ考えのとき」
「同じです。」「つげたいです。」「いいと思います。」「わかりました。」「ほかの考えをいうとき」
「ほかにあります。」「たずねるとき」「聞きたいことがあります。」「うですか。」

振り返りのポイント(○△で書こう)

- ①自分の考えをノートに書くことができた
- ②自分の考えをつたえることができた
- ③自分の考えと友だちの考えをくらべることができた
- ④(ことばで)ふり返ろう

話し方・伝え方

①△を(ら)べると、へは同じです。ちがいます。

②△の結果をつなげると、……考えます。

③わたしの考えは、○○です。そなたの考えは、……はじめて(まず)、次に、最後に……たとえば、……ということです。もし、○○だったら、つまり、○○です。

④この○○から、「……」ということが分かります。

⑤前に○○したとき、△△なことがありました。

取組の具体②

保護者と連携した家庭学習

○本耶馬溪地区(小・中連携)9年間を見据えた「家庭学習の手引き」取組の推進

- ・低中高の成長段階に応じためあて、学習の特徴、学習内容を提供
- ・家庭での援助アドバイス

※ICTを使った課題のサポートや生活習慣の改善等現状に応じた取組も加えて進めている。

○PTAとの連携・協働

- ①児童の実態把握・協議を経て重点項目を設定する。(PTA役員会の中で 学期に1回以上)
- ②全家庭に周知。連絡帳等を使った情報交換
- ③学期に2回の検証を行う。

「樋田っ子カード」「期末アンケート」
※上記のサイクルを繰り返し取り組んでいる。

家庭学習の手引き
自ら学ぶ力をめざして、
自分学ぼう! 家庭を学ぶの環境にしよう!

家庭学習の内容

0% ○できた(「声かけ」も含む) 50%~80%

×まったくてできなかった 30%以下

資料として活用が多様です。保護者の方に記入ください。